

平成 28 年度第 2 回 フォークリフト荷役技能検定 2 級の実施結果について

陸上貨物運送事業労働災害防止協会

当協会では、フォークリフト運転技能講習修了者等を対象として、より安全で正確かつ迅速な作業を評価・認定し、労働災害の防止に寄与することを目的として、平成 27 年度より、フォークリフト荷役技能検定を実施しています。平成 28 年度第 2 回 2 級試験は 10 月 26 日（水）に全国 11 か所（北海道、岩手、宮城、秋田、福島、埼玉、千葉、長野、静岡、愛知、福岡）で 2 級試験を実施し、延べ 88 名（学科 84 名、実技 76 名）が受検、45 名が合格する結果となりました。

受検者と合格者の概要

科目別 受検者	科目別 合格者	科目別 合格率	検定 合格者	検定 合格率	一部 合格者
学科 84 名	66 名	77%	45 名	51%	学科 25 名
実技 76 名	43 名	54%			実技 7 名

注 1：表中、検定合格率は、検定合格者（45）／延べ人数（88）〔%〕により算出したもの。

注 2：表中、一部合格者は、科目別合格者のうち、検定合格者を除いた者の数を表したものの。

各試験科目の概要

試験科目	学科 (300 点満点)	実技	
		点検(200 点満点)	運転(500 点満点)
最高点	294 点	200 点	490 点
平均点	256.5 点	178 点	320 点

学科試験の内容は、関係法令、走行装置、荷役装置、力学、荷役一般から出題しています。

科目別合格率は 77%と、前回までの平均 54%と比べて大幅に上昇しました。このうち、走行装置、荷役装置、力学については正答率が高かったものの、関係法令及び荷役一般で誤解答が多く見受けられました。関係法令は、労働安全衛生法の基礎的な部分から出題していますが、フォークリフト運転士テキストの関係法令部分や、過去の問題も参考になります。

荷役一般については、「荷役作業安全ガイドライン」及び「はい作業主任者技能講習テキスト」から基本的な部分を多く出題しています。問題文をよく読めば自ずと答えが出てくる問いもありますので、慌てずに回答いただければと思います。

実技試験のうち点検試験は、多数の受検者が合格レベルに達していましたが、標準時間を超えている方がやや多かったようです。点検する箇所は予め決まっていますので、事前に時

間内に終了できるように練習していただきたいと思います。

運転試験でも標準時間を超えてしまった方が非常に多く、中には打ち切り時間を超えた方（運転試験が失格になります）もいました。時間の短縮を図るには、コースに慣れておくことが何より重要ですので、できるだけコースを設定して練習をしていただきたいと思います。なお、運転コースのレイアウトや運転試験動画は、ホームページで公表していますので、参考にしてください。

減点項目別にみると、「指差呼称の安全確認」、走行操作時における「停止線での一旦停止位置不良」で減点された方が多く見受けられました。また、今回は「障害物との接触」の項目でも減点となった方がやや多く見受けられました。狭いコースの中では旋回時にフォークの先端又はカウンターが衝突することが多いのですが、日常の作業の中では荷や人との接触の可能性もある部分ですので、フォークリフトの特性を意識しながら、安全な作業に取り組んでいただきたいと思います。

次回の検定は平成 29 年 10 月に開催を予定しています。受検案内等の詳細は、平成 29 年 1 月にホームページに公表します。

是非、多くの方々に当検定をご受検いただきますとともに、今回、残念ながら不合格だった方、学科・実技のいずれかに合格された方におかれましては、再度の受検をお待ちしています。